

平成24年5月9日に開催した第1回公立大学法人静岡文化芸術大学経営審議会の結果は次のとおりである。

1 協議事項

(1) 平成23年度 年度実績について

ア 趣旨

中期計画に基づき、平成23年度に実施した各事業の実績について、平成24年6月に県へ報告を行うことから、その素案に対して意見を求める。

イ 主な意見

- ・県内者と県外者のバランスについては、全学的な県外比率は約56%であり、健全な割合であると考えます。また、「三遠南信」地区からの入学者の増加は歓迎できます。
- ・語学力の強化については、外国の現地で学ぶことがとても重要である。
- ・現在進めているカリキュラム改正では、英語・中国語を軸として、現地で学べるプログラムを検討していく。
- ・経営審議会として、経営に関することをもって議論したい。また、教育研究審議会との連携も必要である。

2 報告事項

(1) 平成23年度剰余金の見込について

平成23年度剰余金の見込額と、その主な内容について報告がされた。

(2) 福島第一原発事故の被災学生の学納金の取扱いについて

福島第一原発事故により避難生活を余儀なくされた学生に対して、授業料及び学納金の減免措置を実施する旨の報告がされた。

(3) 平成23年度就職内定状況について

平成23年度卒業生（平成24年3月卒業）の就職内定状況が内定率91.5%で確定し、昨年度を上回ったこと等が報告された。

(4) 客員研究員に関する取扱いについて

客員研究員に関する規程を今後制定し、客員研究員を受入れることについての報告がされた。

(5) 米国ロジャー・ウィリアムズ大学訪問団の来校について

米国ロジャー・ウィリアムズ大学訪問団が来静し、5月25日（金）に本学に来校することについての報告がされた。

(6) 平成24年度入学者選抜結果について

平成23年度と比較して、志願者倍率は低下したものの公立大学の平均は上回っていること、県外比率、新卒既卒比率及び男女比率は昨年度とほぼ同様であることが報告された。

以上により議事を終了